

----- (前回からの続き) -----

ミーティングルームからぞろぞろと人が出てきて、その中にタイチの姿を見つけたチアキは声を掛けてみた。でも、タイチ先輩の表情がちょっと曇っているように見える。

チアキ「どうしたんですか？」

タイチ「例の発注先のデザイナー。体調を崩して長期入院らしいんだ」

チアキ「えー！朝のレビューで確かめると言っていた遅延のことですか？」

タイチ「先方は他のデザイナーで何とかするって言ってるけどね」

サイト全体の雰囲気もあるし、そのセクションだけ違うデザイナーってのも困るなあ。あまりタッチの合わない人だといいいけど…。ウェブデザイン担当のチアキは少し気になった。

タイチ「まあ、致命的な問題じゃないし、連絡待つしかないね。ところで…」

DOSに関して興味を持ったのはいいけれど、わからないとか面倒とかで興味をなくしていく人が多いので、チアキちゃんの場合はどうかと思いつつタイチは聞いてみた。

タイチ「DOSはどう？まだ勉強してみたい？」

チアキ「…」

すぐに返事が返らない様子に、やっぱりチアキちゃんは興味なくしたかなとタイチは思ったが、やっと返ってきたその答えは意外だった。

チアキ「要するにDOSって、アプリケーションを動かしたりするための土台のようなもので、動かし方とか操作方法とかがキーボードになるってことですよ」

タイチ「え、ああ、そうだよ」

チアキ「マウスが使えないのは違うとしても、Windowsだってアプリケーションを動かす土台だとすると同じなんですよ。すると、ファイルとかがどうなるんです？Windowsで作ったファイルってDOSからはどういうふうに見えるんですか？」

タイチ「いや、あ、それは順に…」

タイチは質問の連発に面食らったが、ちょっとうれしい様子だった。今はウェブデザインの会社で働いているタイチだが、プログラマーやSEとしてシステム開発の経験を持っている。この会社がウェブデザインに力を入れ始めたときにサーバ側のプログラム開発要員として、引き抜かれて入社したのだった。ウェブデザイナーが多い職場で、久しぶりにパソコン自体への興味を持って

質問してくるチアキには昔の職場の懐かしさを感じた。

タイチ「DOSとWindowsのファイルの関連か…。ちょうど今、昼休みだから説明しようか？」

チアキ「ほんとですか？是非、お願いします！」

昨日帰宅してから、DOSについてちょっとインターネットを調べてみたんだけど的を射た説明がなくて、先輩に聞けるならラッキーとチアキは思った。

タイチ「じゃあ、まず、ファイル名って何だと思う？」

チアキ「ファイルに付ける名前ですけど」

タイチ「じゃ、ファイルって何？」

チアキ「ええ？HTMLファイルとかGIFファイルとかです」

タイチ先輩って、予想外の質問をしてることが多い。他の人と着眼点が違うなと常日頃思っているチアキだったが、あまりに基本的なので当たり前のことしか答えることができなかった。

タイチ「ファイルってさ、結局何かの意味のあるカタマリだよな。それが、たまたまテキスト文字だったり、サウンドだったり、グラフィックだったりよね。そのカタマリを識別するために記号がいる。それがファイル名なんだよね」

改めて説明されるとそんな意味なのかと思ってしまうけど妙に説得力がある。

チアキ「当たり前のようないやそうでないやな…」

タイチ「だから、ファイル名があればファイルを識別できるよね。でも、そのファイルの名前からどんなファイルかをどうやって見分ける？」

理解が早いチアキもタイチが何を言おうとしているのかさっぱりだった。

チアキ「アイコンの絵柄でわかるんじゃないんですか？ファイルの違いって」

タイチ「それはWindowsの話だよな。DOSにはアイコンなんてないんだよ。真っ黒の画面にファイル名だけが表示されるとしたらどうする？例えば、"MEMBER"ってファイル名があったとして、それはどんなファイルだろう？」

チアキ「その場合は、名前だけではわかりませんよ。作った本人なら覚えているかもしれないけど…」

タイチ「つまり、ファイル名以外にファイルがどのようなものかを識別する何かの情報があればいいんだよな」

まるで禅問答だ。何だかこんがらがってきたぞ。チアキはとりあえず話の流れをタイチに任せた。

タイチ「チアキちゃんはMacintoshもウェブデザインに使うよね」

チアキ「主に確認用ですけど...」

タイチ「そのMacintoshはこの問題をどう解決したかという、リソースフォークに持たせることにしたんだ。実は、Macintoshのファイルはリソースフォークとデータフォークが二つ一組になっているんだ。そのリソースフォークに情報が入っている。ユーザには直接わからないけどね。それで、どんなファイルかがわかるんだ」

チアキ「...」

タイチ「それで、チアキちゃんが毎日使っているWindowsの場合なんだけど、Macintoshと違った形で情報を表現したんだ」

タイチの言いたいことが少しだけわかってきたが、具体的に何を意味しているのかさっぱりなチアキは黙って聞くよりなかった。どこから取り出したのが手帳にひたすらメモしている。

タイチ「なんと、ファイル名にその情報を持たせるってことにしたんだ。それが拡張子さ」

チアキ「それなら、昨日インターネットで調べました。英字3文字の記号ですよ」

タイチ「そうそう。その拡張子が肝心なんだ」

タイチ「つまり、Windowsでは、ファイル名は"ファイル名本体"+"ファイル名拡張子"になっているんだ。WindowsXPの場合は、意図的に設定しない限り、ファイル名本体しか表示されないよね。拡張子は影の存在なんだ。ちょっといいかな」

チアキがメモしていた手帳にタイチはいくつか拡張子の対応表を書き始めた。

ファイル名 = ファイル名本体 + ファイル名拡張子(3文字の記号)

チアキの手帳の文字は小さいけどまとまった感じのする字体だった。いわゆるギャル文字じゃない。急に大きな字で書き始めてしまったタイチはまずかったかなと思いながら、そのまま言葉を続けた。

タイチ「Windowsはファイルをマウスでダブルクリックすると対応したアプリケーションが起動するだろう。あれはWindowsがファイル名からどのアプリケーションを起動すればよいかを拡張子を参考にして決めているんだ」

そういえば、今までパソコンを使っていて、なぜ？って真面目に考えたことはなかった。ただ便利さとかっこよさだけしか見えていなかったけど、ファイルひとつにそんな仕掛けや考え方があったなんて...チアキにはちょっとしたカルチャーショックだった。

----- (つづく) -----

Copyright(C) 2005 rpn hacks! All rights reserved